

流星群 の 楽しみ方

流星群は、いわば夜空の大イベント。流れ星を見つけた時に歓声をあげたり、その余韻に浸って語り合ったり…。このコーナーでは、じっくり見に行くときのポイントをまとめてみました。

用意するもの

- ・防寒着
- ・寝袋(シュラフ)または毛布
- ・レジャーシートまたは銀マット
- ・使い捨てカイロ
- ・水筒
- ・懐中電灯
赤のセロファンを貼っておくと暗さになれた目をそのままにできます。
- ・双眼鏡
倍率が高いと手ブレしてせつかくとらえた星が見にくくなります。10倍ぐらいのもので十分です。

1 主な流星群カレンダー

極大日	名称	出現数	特性
1月 3~5日	りゅう座ι流星群	30	定常群
2月			
3月			
4月 20~22日	こと座流星群	通常10	定常群(突発群とも)
5月 5~7日	みずがめ座η流星群	20	定常群
6月			
7月 28~29日	みずがめ座δ流星群	10	定常群
8月 11~14日	ペルセウス座流星群	50	定常群
9月			
10月 8~9日	ジャコビニ流星群	通常10	周期群
20~22日	オリオン座流星群	10	定常群
11月 16~19日	しし座流星群	通常10	周期群…次回は2031年
12月 11~14日	ふたご座流星群	60	定常群

2 星空を眺めてみよう

まず、装備が大事です。はじめて見に行くなら、普段着ているものよりも、さらに3枚くらい多めに着こむ気持ちで臨みましょう。秋から冬、春にかけては、防寒対策として次のものも準備するとよいでしょう。

手袋、耳が隠れる帽子、マスク、靴下(2枚履き)、靴に入れるカイロ、マフラー

観測する場所を決めましょう。

- 街の灯かりが見えない
 - 安心して寝転がれる
 - トイレが近くにある
- などがあります。

観測場所が決まったら、見る体勢をつくります。

1. レジャーシートまたは銀マットを敷き、横になれるスペースを確保しましょう。
2. カイロを準備します。靴に入れるカイロは、見はじめる前に貼りましょう。
3. 他の防寒着を身に付け、暑いと思うぐらいになりましょう。
4. 輻射点の方向を確認して、あおむけになってみましょう。



How To 情報

コメリドットコム「HowTo情報」には、DIY情報、住まいや暮らしに役立つノウハウが満載です。



3 これだけは知っておきたいQ&A

Q 流れ星になる「ちり」の大きさはどのくらい？

A 1ミリ

重さも1グラム以下のものがほとんどです。

Q 「ちり」が発光して流れ星になるのは地上何メートルでしょう？

A 100キロメートル

高速で大気圏に入ってくる「ちり」は150キロメートルあたりから発光します。燃えつきるのは、地上70~80キロメートルあたり。大きすぎてなかなか燃え尽きずに発光しつづけるものを火球(かきゅう)とよびます。

Q では「火球(かきゅう)」って何？

A 明るい流星

明るい流星は大火球と呼ぶこともあります。中には流星痕が残るものもあります。

Q 地球はどのくらいのスピードで宇宙をまわっているでしょう？

A 秒速30キロメートル

実は「ちり」は10~80キロメートルで地球に突入してきます。正面から突入するものもあれば、後ろから引き込まれるものもあります。したがって、流れ星も横に流れるものもあれば、下から流れるものもあります。もし、地球が進む方向から「ちり」が真っ正面に突入してくれば、ほとんど動かない流星、つまり遅い流星になります。地球が動いているからこそ、流れ星が見えるのです。



4 もしも見飽きてしまったら…

・ 双眼鏡で星を眺める

本や、星座早見盤を持っていたら、二重星や星雲の場所を探して、実際に双眼鏡で覗いてみましょう。肉眼とは違う世界が見えるはずですよ。

・ 色を比べる

星にはいろいろな色があります。ひとつひとつ見比べるとおもしろいかも。基本的に、赤っぽい星は低温、青っぽい星が高温になります。

・ 星座や、季節のシンボルを探す

全天には88種類の星座があります。星と星を線でつなげて、星座の名前と、実際の星座を見比べてみるのもおもしろいです。各季節によって、春のダイヤモンド、夏の大三角、秋の大四辺形、冬の大六角形などのシンボルがあるので探してみましょう。

・ 思い出や将来について語る

暗い場所に慣れると、心も落ち着いていろんな話ができるはず。この機会に語り合うのもいい思い出になるかもしれません。

・ あたたかい飲み物で一息する

水筒にお茶などを入れていくのもいいですが、水、やかん、カセットコンロ、カセットボンベを持っていき、そこでお湯を沸かしてコーヒーやココアなどを作るのもいいでしょう。

